



2017-2018 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2017-2018 年度 No.16

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com



ロータリー：
変化をもたらす

(イアン H.S.ライズラリー会長)

2017-2018 年度 会長 河合耕一、幹事 長谷川吉美

例 会 記 録

第 1889 回例会

平成 30 年 2 月 7 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. ゲスト：①宇津孝志氏（県美術協会副会長）②谷口均氏（越中三助黨元）：紹介者・横山豊介会員
5. ビジター：岩崎渉会員（富山西 R C：総合建設）
6. 月結婚記念日：得永忠雄会員（11 日：欠席）河合耕一会員（24 日）



7. 月誕生日：長田正勝会員（8 日：欠席）坂井彦就会員（13 日）高瀬顕正会員（14 日：欠席）…バースデーソング



8. 会長の時間：先日から 20 年来の夢であった諏訪湖の御神渡りを見に行き行って来ました。5 年ぶりに出現しました。2 月 4 日夕方到着し、5 日の朝、湖の氷が放射冷却で寄せられて、パーンと大砲を打つような大きな音と共にせり上がりました。これは古くから、諏訪湖の上社の男神が下社の女神の所に渡られるという言い伝えがあります。ここ 30 年では 15 回しか観測されていません。昔はよく見られたそうで、昭和 18 年には、戦車も渡れたそうです。大きいものは 1 m の高さにもなり、諏訪湖の中ほどで富士山が見られるスポットもあるそうです。



9. 幹事・理事会報告：①2 月 19 日（月）3 R C 合同例会懇親会、18:00 例会、18:30 合同懇親会(会場)TONAMI 翔凜館。【バス時間】17：20 福野、17：30 井波交通広場②R 財団・米山記念奨学会、確定申告用領収書の配布。③2020-2021 年度ガバナーノミニ候補の告示：野澤良成君（魚津 R C：職業分類・注文家具製造販売、1947 年生）④富山第 3 分区 I M、2/25（日）ホテルニューオータニ高岡 15：30 開会点鐘。⑤3/28 夜間例会「Rデー」は、40 周年に向けての準

備の会の予定です。⑥「ロータリー手帳」希望者は事務局まで。⑦近隣クラブの例会変更は、事務局に確認ください。【阿部さんは、本日インフルの為、欠席】

10. 委員会報告:①出席報告(中島委員長)22名中14名出席(出席率 63.64%)②雑誌広報委員会(三谷委員長):「友」の早読み、RI会長の言葉をはじめ、内容があり、今月号をゆっくり読んで下さい。

11. ニコニコBOX(SAA:本日4名)

河合会長:大雪とインフルのお見舞い申し上げます。

坂井会員:誕生日祝、有難うございます。57歳に!

中島会員:例会場が「よいとこ井波」に移ってちょうど4年。月日のたつのは早いですね。

山本武夫会員:ゲストの宇津様、谷口様、ビジターの岩崎様ようこそ、当会所にお客さんが3名御招きできるのは初めての様な気がします。



ゲスト卓話①「アートによるまちづくり」

宇津孝志氏(県美術協会副会長)

横山豊介会員(紹介者):本日ゲストが電話の連絡ミスで、二人を呼んでしまいました。悪しからず。



宇津氏:私は現在65歳、普段は人前でしゃべらないので慣れていませんが宜しくお願い致します。茨城県日立市の出身で、先代加茂番山先生に入門し、5年修行し、2年の御礼奉公後、もともと独立心が強く、独立しました。この呉西の地は、人を育てる文化があり、一人前になってかえって来いと人を送り出す風土があります。はじめは彫刻で飯を食べるのはなかなか大変です。独立してある時、観光客の30万人来る八尾の風の盆に、店を借り3日間、並べ

た作品が全て売れました。それで、八尾に家を買って、住むことにしました。ところが、365日のうち、八尾にはこの祭りの3日以外には人がいません。それで町おこしをしようと考えました。町おこし全国大会があり、3つの例を学びました。①湯布院では、映画祭とハガキアート、②小田原では、かまぼこそれが乗る板のアート、③伊豆高原では、別荘地の家を借り、作家の作品展示と東京横浜に紹介チラシを15万枚配布などです。これを八尾に同できるか考えました。地元の「八尾和紙」を体験して、町全体を美術館にしよう計画し、借家を求めました。はじめは全然反応がなく困りましたが、次第に理解者が増え、初年度1万人の来客があり、2年目から県の支援も受け、広報誌に掲載され、マスコミ・TV新聞での紹介、毎日・朝日の全国紙に小さい記事まで出て、3年目に3万人の観光客が来られました。10年間実行委員長を務めました。住民参加型で、玄関先に竹を切った小さな花瓶を出してもらうことにより、人を迎え入れる気持ちが出て町全体がきれいになりました。それをさらに、県内に広めようと、井波にも来て、商工会での地元の人中心に「まちなみアート」に展開、続いて、福野・小杉・高岡金屋町・上市町へと繋げていっています。【展覧会のパンフを頂きました】



ゲスト卓話②「温泉水で焼き物づくり」

谷口均氏(越中三助窯元)

谷口氏:一般に民芸品は厚手のものが多いのですが、最近は注文生産で食器棚に収まるような薄手のものを頼まれて作成します。今、面白いものは、素焼きの玉をつくって、ビールカップに入れると、味がマイルドになります。花瓶に入れると花が長持ちします。

坂井会員:庄川活性化ビジョンで、温泉峡の食器をつくって頂いたり、温泉水で焼き物をと試験的に作ってもらって陶板焼きを出したりしています。

(会報担当) 山本